

地域社会協力活動

栃木県小山支部(支部長・福田久)は7月26日から3日間、小山市社会福祉協議会の呼び掛けに応じて、会員6名で岡山県倉敷市真備町において災害ボランティア活動を行った。



災害ボランティアセンターにて

広島県安佐支部(支部長・石沢睦夫)は、西日本豪雨の土砂災害発生に伴い、広島市安佐北区ボランティアセンターの要請を受け、災害ボランティア活動を実施した。

東京都医療支援部会(会長・白須一也)は、終戦記念日の8月15日、靖国神社境内及び参道において参拝者に対する救護活動を実施した。



靖国神社境内で救護活動

函館地方北支支部(支部長・水谷保)は、8月4日、北支教育局主催の「ぎざぎざアドベンチャー2018」防災研修に協賛し、7名が協力・支援した。



子供たちに挨拶する笹森会長

宮城県雄勝支部(支部長・山田勝)は7月22日、雲石町の森林公園「さえずりの里」キャンプ場の整備を会員5名で実施した。



キャンプ場整備に参加した会員

漢検 日本漢字能力検定(検定問題) 準1級(小学・一般程度) (一) 次の傍線部分の読みをひらがなで記せ。1 2は音読み、3は訓読みである。

自衛隊諸業務への支援 青森県三八地域支部(支部長・小笠原治)は8月8日、納涼盆踊り大会を八戸駐屯地と共催した。



体育館で行われた盆踊り大会

山形県河北支部(支部長・堀米二郎)は7月29日、町内の特別養護老人ホーム「眺葉園」の清掃奉仕活動を行った。



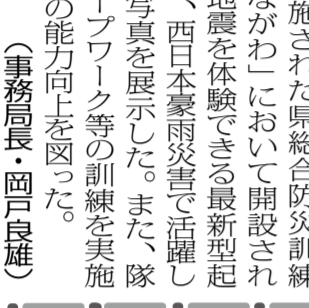
眺葉園玄関にて記念写真

群馬県前橋支部(支部長・井出三男)は8月12日早朝、前夜に開催された前橋市利根川川敷の花火大会の清掃ボランティア活動を行った。



ボランティア活動に参加した会員

神奈川県大磯支部(支部長・藤本正則)は8月26日、海老名市で実施された県総合防災訓練「ビッグレスキューかながわ」において開設された、海老名市所有の「地震を体験できる最新型起震車の体験コーナー」に、西日本豪雨災害で活躍した災害派遣部隊の活動写真を表示した。



防災訓練に参加した会員

札幌地方青森支部(支部長・藤原恒雄)は5月21日、岩見沢駐屯地創立記念行事を地元自衛隊協力会・家族会共催で実施した。

宮城県原支支部(支部長・三浦郁男)は7月21・22日の両日、宮古港漁市場に接岸した海自員地方隊の護衛艦「うみぎり」と「とね」の艦艇広報を支援した。



大盛況となった艦艇広報

山形県酒田海支支部(支部長・本多秀之)は8月3日から3日間、酒田港において護衛艦「ひょうう」と「潜水艦「せと」の艦艇広報を支援した。



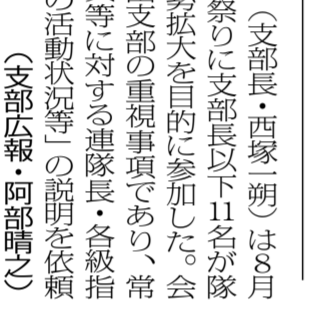
会旗を掲げて護衛艦を出迎へ

新潟県新潟支部(支部長・西塚一朗)は8月6日、新潟市東区で実施された「新潟県防災訓練」に、新発田駐屯地支部長以下11名が隊員との交流・激励、会勢拡大を目的に参加した。



会旗を掲げて護衛艦を出迎へ

大分県別府地区(会長・茅野寛治)は7月20日、別府国際観光港で開催された練習艦「せとゆき」の入港歓迎レモニーに参加した。



関係団体等と旗を立て記念撮影

青森県中支部(支部長・三上知彰)は8月4日、弘前市忠孝塔及び陸軍墓地の清掃奉仕活動を行った。11回目となる今回は、会員25名、ボランティアの自衛隊員74名等合計104名で行い、忠孝塔も隣りに整備された。15日の弘前市戦没者慰霊祭には、会員28名が参加し、御霊の安らかな鎮座を祈った。

千歳地方千歳支部(支部長・岡昭雄)は7月22日、千歳基地航空祭において展示即売店を出店した。販売品目は、から揚げ「ザンギ」とフライドポテト、北海道メロン。同店は会員への販売を目的として行っており、その活動により市民に隊友会を広く知っていただくことを副次的な狙いとして始め6年目となった。



千歳支部展示即売店

山口県山口支部(支部長・原田昭彦)は7月15日、山口駐屯地に所在する17普通車が北方機動訓練参加で不在の間に実施された駐屯地の清掃を支援した。会員27名が猛暑のなか残留隊員と協力して、グラウンドとその周辺及び正門付近の草刈りを行き、きれいに仕上げることができた。



駐屯地清掃活動に参加した会員等

福岡県久留米支部(支部長・日高節郎)は8月20日、幹部候補生学校99(前設)課程候補生の総合訓練を激励した。19日に進出を開始した候補生127名は20日未明に武雄市鳥越宿営地に到着。宿営地での行動を終えて午後6時に目的地大野原に向かった。その際、会員9名が佐賀県隊友会とともに候補生たちを「頑張ってください」と声をかけ激励した。



武雄市内で激励する会員たち

山形県山形支部(支部長・新関多喜男)は8月13日、山形県護国神社「英霊感謝祭」に先立ち神社参道の除草作業を行った。今回の清掃には会員8名とお孫さん2名が新戦力として参加。神社総代から感謝の言葉をいただいた。15日は「英霊感謝祭」では、案内と参列を通じて英霊への追悼と平和の願いを表し、本祭の円滑な進行に貢献した。(支部長・三沢和廣)



お孫さんと一緒に除草作業

宮城県角田支部(支部長・齊藤公夫)は7月14日、蔵王倉石岳の角田市戦死病死者慰霊塔の清掃活動を5名の会員で実施し、花と線香を手向け英霊の供養を行った。15日は、四方山自然公園の清掃活動を会員9名が草刈り機6台より実施。市民団は、太平洋と蔵王連峰の眺望が良く多くの市民に親しまれている。(事務局長・瀧口隆平)

山形県鶴岡・田川支部(支部長・國分龍三)は8月1日、恒例の鶴岡護国神社の清掃奉仕活動を会員7名で行い、15日に行われた「慰霊と平和の集い」にも参拝した。会員5名でテントの設置や準備作業を行い、全国戦没者慰霊祭中継を拝聴し先人の感謝とご冥福をお祈りした。(事務局長・高橋俊朗)



整備された慰霊塔を囲んで

高知県長門支部(支部長・須田幸春)は8月15日の終戦記念日に、出雲市長門公園の慰霊塔に参集して戦没者に対し慰霊の祈りを捧げた。この慰霊塔には、日露・大東亜戦争戦没者665柱が祀られており、国のために尊い命を捧げられた英霊に対する感謝の気持ちと哀悼の誠を捧げることにも、平和日本の永続を願った。(支部長)



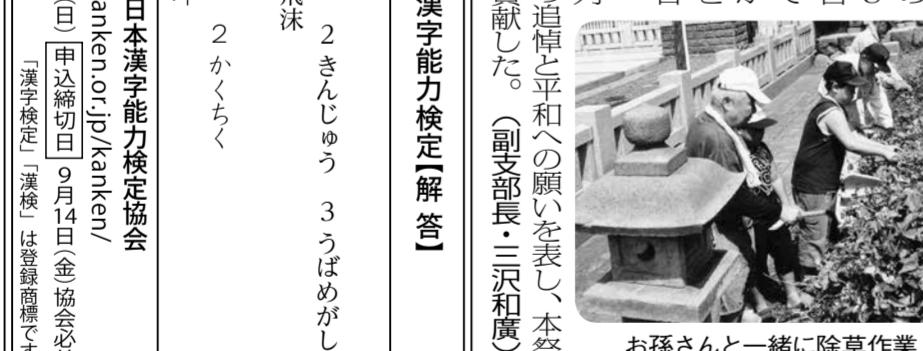
慰霊塔前に参集

山口県宇部支部(支部長・落合直巳)は8月5日、毎年恒例の宇部護国神社の草刈り奉仕活動を行った。護国神社には、幕末の第一次長州征伐回避のため「禁門の変」の責任を負って自刃された宇部領主福原越後翁の御霊とその家臣及び日露、日露から大東亜戦争までの英霊が祀られている。宇部護国神社は昭和14年までは「維新招魂社」と呼ばれ、最初の招魂祭は慶応元年(1865)年5月と伝えられている。(支部理事・諸石卓三)



全国戦没者慰霊祭中継を拝聴

山形県山形支部(支部長・山岡啓人)は8月4日、東かがわ市内町において1975年8月5日に飛行中の落雷のため墜落した陸自ヘリコプター「OH-6」の殉職者南里陸将補(殉職後1階級特別昇任)以下4名の慰霊祭を実施した。慰霊祭には御遺族をはじめ会員、中央航空隊員6名、14飛行隊員3名等28名が参加し、殉職者のご冥福をお祈りした。(支部長)



御遺族を中心に記念写真

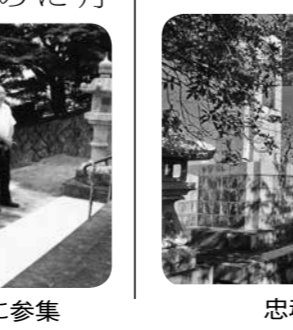
長野県安曇野支部(支部長・丸山英二)は8月11日、終戦記念日に安曇野市穂高神社で斎行される戦没者慰霊「みたままつり」に先立ち神社境内の穂高神社の清掃奉仕活動を実施した。神殿における神事の後、穂高神社周辺を心を込めて清掃し環境を整え、慰霊に手を合わせ終了した。神職から毎年綺麗に清掃して戴きありがとうございますと感謝の言葉を戴いた。(支部長)

兵庫県姫路支部(支部長・三枝副三)は8月8日、姫路市名古山霊園内の陸軍墓地清掃を実施した。10日には会員12名が参加して郷友会と合同慰霊祭を行い、姫路駐屯地司令をはじめ多数の来賓が参列した。この墓地は戊辰の役から大東亜戦争までの戦没者並びに自衛隊公務殉職者の御霊が鎮まる聖域となっている。墓前に生花等供え、御霊に感謝の誠を捧げた。(事務局長・古西真吾)



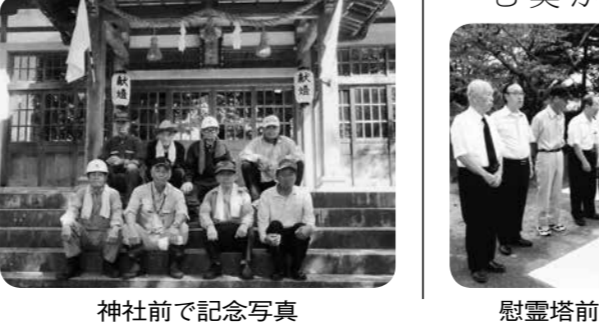
陸軍墓地を背景に記念写真

岡山県津山支部(支部長・植村将元)は7月21日、津山市津山城(鶴山公園)において旧美作1市5部の忠魂碑の清掃奉仕作業を会員12名で実施した。作業終了後、全員で焼香し英霊に敬意を表した。この碑は、日露戦争の戦死者の記念碑であったが、その後明治維新までさかのぼり、明治10年の役から大東亜戦争までの戦没者をお祀りする慰霊碑となった。(事務局長・利廣貴敏)



忠魂碑に拝礼

山形県鶴岡支部(支部長・國分龍三)は8月1日、恒例の鶴岡護国神社の清掃奉仕活動を会員7名で行い、15日に行われた「慰霊と平和の集い」にも参拝した。会員5名でテントの設置や準備作業を行い、全国戦没者慰霊祭中継を拝聴し先人の感謝とご冥福をお祈りした。(事務局長・高橋俊朗)



神社前で記念写真

旭川地方旭川支部(支部長・長野宏樹)は8月24日、旭川駐屯地において予備自衛官招集訓練参加者205名に対し隊友会活動の概要及び会員減少や高齢化に伴う活動内容の縮小などの問題点を説明し、未加入者への入会及び会員の積極的活動参加を願った。また支部長は28日、表彰式に立会い永年勤続者等に記念品を贈呈した。(旭川地方事務局長・山口正幸)



長野支部長から記念品を贈呈

会勢拡大 (旭川地方事務局長・山口正幸)

漢検 日本漢字能力検定(解答) 準1級 (一) 1せいすい 2きんじゅう 3うばめがし (二) 1藤 2飛沫 (三) 1きじつ 2かくちく

公益財団法人日本漢字能力検定協会